

第21号

本小の教育「授業改善研」

1年国語

○本小授業改善『主体的・対話的な深い学び』

今回は、1学年・綾乃先生の「互見授業」である。小学生の第一歩のピカピカの一年生。巷では、「小1プロブレム」として、「新しい環境」に馴染めないお子さんが増えている。「環境」とは、「小学校のシステム」である。そして「自分で行動する力」が求められている。「集団行動」もそうである。「時間の感覚」や「ルール・マナー」、「相手の気持ち」など、「数々の連携事項」（保護者との）を、一つ一つクリアしていただいている。国語と生活科、道徳と学活を活用して、学年・学級経営に益々頑張ってください。

1年 1組（国語）「岸本 綾乃」先生 5校時目 [互見授業]



【児童の手（学習規律）】



【教室の色（支持的風土）】



【教師の目（教師の姿勢）】



■【児童観】「子供の様子」

●子ども達は誰も、学校が楽しそうであった。
●子供達は、所属感を持ち、学習規律も有る。
●子供達は、小学校生活に溶け込もうと必死。
●どの子も、明るく、初々しさが溢れている
●小学校に入学して、4ヶ月の地点ではある
●でも誰もそう思えない程のガンバリである
●音読が、かなり 鍛えられていると感じた。
●子供達は、国語が好きであるように感じた。
●自己の感情コントロールで困り感の子1名
●学習について行くのが厳しい子が数名いた。

■【教材観】「学びの様子」

■「授業の流れは、下記の通り」で展開する
●（始めに）「誰のお腹かな」クイズで開始
●①「説明文」の学習の振り返り（学習経験）
●②「食べ跡」を見た経験の振返（生活経験）
●③「学習」と「生活」を合致。（興味関心）
●④「単元確認」（ホ）：写真、（ス）：音読 ～
●⑤「めあて」確認：誰が何を食べたのかな
●⑥「写真」を見て食べた動物を考える内容
●⑦「教科書の本文」を手がかりにして探す
●⑧「学習のまとめ」全員一斉めあてに正対

■「主体的、対話的、深い学び」を創る。

●入学式の遅れた一年生、でも元気いっぱいだ
●スタートカリキュラムも厳しい中でよくぞ！
●一年生全体的に、「しまり」「けじめ」がある
●学習の進行、教材研究、学年会にて共通理解
●「週案」にて、子供や学年会が、「見える化」
●一年生の子供達の話し合いが、「カワイイ！」
●「まとめ」で、写真と教科書の文章を手がかりにする事をおさえていた。ヒントにもなる
●保護者との連携も「見える化」。家庭でも音読の練習が出来ている。自信を持っての音読だ。



2020図書貸出統計（現時点）
（6月、7月、8月、迄の集計結果）

■合計冊数		
1位	1年1組	1, 710 冊
2位	4年1組	1, 568 冊
3位	3年3組	1, 529 冊
■一人当たり冊数		
1位	3年3組	56. 6 冊
2位	1年1組	56. 5 冊
3位	4年1組	52. 3 冊
■個人賞（6の1）躍場カリン （86冊）		

※ 絵本や文学作などもどんどん薦めましょう



【感想】 「小学1年生」は、「国語の授業が上手いけば、...」。 全てが「成功！間違いなし」です！

○「小1プロブレム、一日に二時間もある国語の授業を「充実」させられれば、当然、学級経営も上手いく」
○「授業には、こだわって取り組もう！」そうすれば、子供達はガラッと姿を変え「学校生活」は充実する」
○「話す・聞く」「書く」「読む」の「国語の特質に関する事項」の領域・事項別に指導を徹底する事が大切」
○「上に、本校の一学期から8月現在の図書貸出統計を提示。1年1組さん、読書も頑張らせていますよね」
○「学習指導」と「生活指導」は、両輪。「分かる授業、楽しい授業、居心地の良い学級が、担任の努めです」
○「益々、子供達を鍛えて、学びと育ちを実感できるように伸ばしてください。おおいに期待していますよ」



校長より

